

一般質問(要旨)

鈴木えつお

住宅用太陽光発電助成
や公共施設の省エネ・
新工ネ推進

問

全国的なCO2排出量は産業界が7〜8割を占めるが、狛江市では家庭部門が50%、業務部門が20%。①住宅用太陽光発電助成の再開は。②保育園や市庁舎等の耐震改修の際の省エネ・新工ネの導入は。

答

①他の補助金の活用を検討するとともに、次世代エネルギー普及の一助となるよう、都・国の動向を踏まえて考える。②補助制度等を調査し、庁内関連部署と調整して計画を検討したい。

市内業者の仕事確保と
公契約条例の制定に
ついて

問

景気悪化で中小業者の仕事が激減している。①公共施設修繕予算を市内業者の仕事確保に。②住宅リフォーム助成の再度実施を。③公共工事にかかわる労働者に一定水準以上の賃金を支払う公契約条例は。

答

①臨時交付金の目的を踏まえ、地域の中小企業などの受注機会へ配慮している。②景気対策としての住宅リフォーム助成は市の単独事業では難しい。③実情に即した制度になるかなどを含め今後検討したい。

特別養護老人ホームの
増設を早急に

問

日本共産党市議団で市政アンケートに特養ホーム入所など切実な要望が寄せられている。①特養ホーム入所待ちの現状は。②介護者の健康状態等は。③緊急時の申し込みは。④特養ホーム増設を急ぐべき。

答

①7施設で232人。②病氣治療中、障がいがある要介護認定者などが116人。③状況を確認し各施設の状況で対応。④今後介護保険推進市民協議会で検討し対応していきたい。

宮坂良子

介護保険制度の改善・
充実を。がん予防の充
実を

問

介護保険について①認定まで1カ月。緊急時の利用を可能にして。②制度の使い方がわからない人が多い。知らせる工夫を。③歩行教室を全地域包括で行って。④ヒブワクチン・子宮頸がんなどの助成を。

答

①要介護認定申請後であれば緊急時の利用は可能。②検討していきたい。③来年度に向けて検討していく。④財政状況をかんがみ、実施の可能性について情報収集を行いながら調査・検討していく。

旧七小校舎解体工事は
安全第一に。住民の
方々の声よく聞いて

問

①交通安全対策は②登校時の搬入はやめてほしい③粉じんやほこりの対策は④騒音・振動対策は⑤野川貯留池工事の都や施工会社との連携を図ってほしい⑥住民へ跡地計画も含めて十分な説明を。

答

①各交差点に警備員を配置②登校時間は避ける③周囲をパネルやシートで養生し散水は十分行う④周囲を防音パネル等で養生し騒音等を定期的に測定⑤調整していく⑥今後の活用方法を定め説明していく。

高齢者、難聴者のため
の磁気ループ、要約筆
記などの支援充実を

問

①磁気誘導ループが設置されていないところは。②あいつとあいつがあることを広く知らせてほしい。③耳が聞こえにくくなくても社会参加できるように他の施設にも設置を。④要約筆記の施策を続けてほしい。

答

①あいつとあいつセンター内の研修室。②さらに活用を促す。③現状を見て研究していく。④これ以上サービスが低下しないように努力していく。

西村 あつ子

子育て支援について

問

①認証保育所に入所する3歳児以上進級への対策は。②国有地の賃貸料が安くなれば、保育所増設の可能性もあ

る。検討を。③保育要録作成への改善を。④子育てサイトの検討状況は。

答

①認証保育所の改修により定員増を図る。②国有地の活用も含め、国の動向等を注視し検討していく。③担当保育士の負担軽減に向け改善に努める。④「子育てを楽しむ」をコンセプトに企画案を策定したい。

問

航空計器跡地の高層住宅
計画。高さの低減や壁面
後退等市は後押しを

答

①2月10日付で事業者に対し公文書が出されているが、市長の見解を。②住民の方は大きな不安と心配があり、事業者はまちづくり条例にこたえる責務がある。行政として後押しをすべき。

問

①環境整備等を求めるため3項目について要望した文書である。事前協議や確認文書に当たる内容ではない。②法令遵守にとどまらず、まちづくりへの積極的な協力を求めていく。

藤田 鋭

「音楽と花火の祭典」
について

問

①今年市制施行40周年事業として「音楽と花火の祭典」が行われるが、この事業の意義は何か。②また現在の準備状況や企画内容はどうなっているか。③有料席についてはどうする予定か。

答

①市制施行40周年の周年事業として位置づけ。②開催日8月5日。1部が音楽ステージ、2部が花火の打ち上げ。

歩行者に優しいまちを

問

①一の橋から岩戸児童センターへの市道が危険であり、歩行者の安全確保のためカラー舗装等を求めるがどうか。②外出しやすいよう岩戸川緑道にちよつと腰をおろせるスポットの設置を求めるがどうか。

答

①歩車道を区別する路側帯のカラー舗装等に関する設置・施行基準づくりと合わせて検討する。②住民交流友好都市小菅村の間伐材を提供してもらい、職員による利用しやすい施設づくりを目指したい。

田中 智子

多摩川パーベキュー
問題について

問

①現状と今後さらに増加の可能性があるが、認識は。②これまでの市の対応は。③「当面全面禁止」の市民議会提言書の受けとめは。④占用に対する課題は。⑤市はどう解決しようとしているのか。

①市が直接管理・規制できない難しさがある。②住宅側ごみ収集、注意看板設置。③包括的占用が必要、施設設置管理費等コスト増懸念。④貸ポート営業権と財政的負担増。⑤国等と今後も協議努力する。

答

交通安全対策について

問

①東和泉一〜7方面から東和泉二〜8方面の世田谷通りでの事故が多発している。信号機の設置について警察に要望を。②狛江通りのバス停新設の見直し。③交通安全計画の策定予定について。

答

①警察協議では変則道路形態等のため設置は難しいとのこと。市側で注意喚起看板を検討する。②バス停設置は小田急バスへ要望し、バスベイは東京都と協議中。③平成22・23年度の2カ年で策定予定。

田辺 良彦

「子どもの権利条約」や
憲法第26条に立った
教育行政を

問

狛江の子供は狛江が育てる見地で、子供の現実から出発して、保護者や教職員の意見をよく聞いて、条件整備を進めていく教育行政を進めてい

答

憲法に保障された教育を受ける権利や子どもの権利条約を踏まえ、調和のとれた人間性豊かな子供たちの育成を図るため、確かな学力はもとより、命や人格・人間尊重の精神や社会貢献の精神を育成する。

市民の要望にこたえた
「こまバス」の充実・
発展を

問

市民から寄せられている要望を踏まえ、①双方向の運行②ハイタウンを経由するようルートの変更③覚東付近などへのバス停新設を実現していただきたいが、いかがか。

答

①バスのすれ違いの場所、財政的負担の検討が必要。②全体のバスルートの見直しの中で検討をする。③近隣住民のご理解、バスベイの設置等課題があり、検討する必要がある。

石川 和広

うつ病対策とサポート
について「ストレス社
会」に潜む新たな課題

問

①うつ病対策とサポートについて、市の果たすべき役割は。②厚労省が市町村向けに平成16年発信している「うつ対策推進方策マニュアル」のとらえ方は。③既存事業の場を活用した啓発活動については。

答

①早期対応のために相談の窓口と社会復帰の場所の確保など環境整備を図ること。②医療に結びついた後、入退院後のフォローも重要と考えている。③市報、都のお知らせ、開催案内の配布、ポスターの掲示。

高齢になっても住み続
けられるまち「狛江の
高齢者施策について」

問

①高齢者相談の夜間や休日におけるニーズについてどのようにとらえているか。②高齢者の方のアパート立ち退きや要介護世帯が低階層への移